

令和5年度第3回長島町総合教育会議 議事録（要点筆記）

- 1 日 時 令和6年2月27日（金） 午後6時30分～
- 2 場 所 長島町開発総合センター 3階 大会議室
- 3 出席者 委 員 川添町長
大浦教育長、久保委員、山内委員、門元委員、赤瀬委員
事務局 町長部局
長岡副町長、村上総務課長、濱口総務課長補佐
教育委員会
濱田教育総務課長、宇治野学校教育課長、脇田社会教育課長
瀬ノ口課長補佐、山口係長、池上主事補
- 4 配布資料 会次第
町長部局提出資料
資料1 今までの発言のまとめ（町長）
資料2 利便性の補足 2枚
資料3 鷹巣中学校周辺集成図
資料4 総合運動公園全体計画平面図
資料5 長島町における基金残高及び実質公債費比率の推移
- 5 会次第 (1) 開 会
(2) 町長あいさつ
(3) 教育長あいさつ
(4) 協 議
①長島町立中学校再編に伴う基本計画（案）について
②その他
(5) 閉 会
- 6 会議内容
(1)町長あいさつ
☞ 基本計画（案）をもとに住民説明会を開催した。委員の皆さんもそれぞれ参加いただき、感想をお持ちだろうと思う。中立的な立場のコンサルにつくっていただいた基本計画（案）ですので、教育委員会と町がそれぞれ取りまとめをしており、意見交換を

してまとめたい。

次のステップの第２回目の説明会を開催し、最終目的である中学校の１校統合再編の実現に向けて努力していただくことをお願いしたい。

(2)教育長あいさつ

- ☞ 教育委員会は２月２３日に定例教育委員会を開いて、それぞれの委員の意見を聞きまして、まとめている。よろしくお願いします。

(3)協議事項の主な内容

①長島町立中学校再編に伴う基本構想（案）について

（議長＝町長）

- ☞ 中学校再編に伴う基本計画（案）については、住民説明会を踏まえて、それぞれの立場で協議していただいた。次のステップに向けた方向性の話し合いをしていただきたい。
- ☞ 町長部局も話しておりますので、報告をさせていただいて次に進めていきたい。
- ☞ 教育委員会でまとめた結果を説明いただきたい。

（教育長）

- ☞ 町長部局と教育委員会の一致点については、
 - ・子どもたちの教育を優先的に考える。
 - ・鷹巣小学校、城川内小学校の老朽化や小学校の複式学級解消を早期に解決しなければならない。
 - ・長年の懸案事項である新中学校の位置決定をもとに、事業を早く前に進めたい。
- ☞ 次に位置決定について、
 - ・事業費は鷹巣中学校が少ない。
 - ・長島高校跡地は敷地面積が広い。
 - ・敷地面積が広いことで将来の敷地需要に対応できる。駐車場の確保や安全性に有利である。
 - ・鷹巣中学校の場合、プール予定地が城跡を造成するため、文化財保護の観点から問題がある。
 - ・住民説明会における鷹巣中学校区以外の意見、町ＰＴＡ連絡協議会の独自アンケー

ト結果から長島高校跡地の方が良い。

- ☞ 以上の観点から、教育委員会は新中学校建設候補地として長島高校跡地を推薦したい。
- ☞ 1つ気がかりなこととして、南国交通バスの撤退に端を発してスクールバスの安定的な運行について、非常に不安な意見等も出た。

(町長)

- ☞ 町側の報告としましては、基本計画の提案については、中立な立場でコンサルにお願いし、これまで私どもは意見を申し上げることはしなかった。
- ☞ 前回の総合教育会議で委員から提案された、楽しく充実した学校生活を送れる環境性が大事との意見に大賛成である。
- ☞ 教育の中身の議論も重要である。この議論は、今後の基本設計・実施設計の際に充実させるための議論をすべきである。
- ☞ 設計の段階になると、現在計画している予算をオーバーしていく。
- ☞ 学校を実際につくる際、設計の段階では、予算に関して以外は教育委員会の意見が圧倒的に尊重されなければならない。良いものをつくるべきという意見も同じである。
- ☞ 長島の風景が見えることは、子どもたちにとって大切であるが、少し人里離れたところより、地域の目の届くところが良い。
- ☞ グラウンドは長島高校跡が有利である。両候補地を比較すると、鷹巣中学校の場合、多目的広場（山中）があり、野球専用で使える。長島高校の広さ以上に活用できると認識している。
- ☞ 敷地が広い方が良いのはそのとおりである。
- ☞ 資料をお配りしている。

私の発言の取りまとめとして、議会、住民説明会などすべてにおいて、

- ・子どもたちのために最優先にすべき。
- ・財政的な立場から、できるだけ低減される場所が良い。
- ・地域の理解が得られるかどうか。最終的には議会が同意していただけるか、PTAの人たちが理解をしてくれるか。ここが一番大事である。

～資料説明～

- ☞ 利便性の補足（長島高校跡と鷹巣中学校について、資料2枚の説明）
 - ・学校をとりまく生活環境

(住宅事情、医療機関、金融機関、食事処、買い物、宿泊施設、緊急対応、郵便、図書館)

- ・関連施設の活用

(平尾中学校体育館・グラウンド、山中多目的広場、総合運動公園、多目的運動場、総合体育館、開発総合センター)

- ☞ 子どもたちのために

- ・課外活動の充実
- ・危機管理の対応
- ・土日、授業外にも図書館の利用が図られる。
- ・地域から子どもたちの行動が見守られる。健全な育成。

- ☞ 財政的立場から

- ・住民説明会等で「子どもの教育のためには投資を惜しむな」ということが聞かれた。そのとおりであるが、合併の平成17年、18年ごろは17.5%、17.9%と公債費比率が黄色信号から赤信号へ近づいていた。現在は8%台に落ち着いている。多少の借金はしてでも投資をすることはやぶさかではないというのは前提である。
- ・ただ、平成17年以前はそれぞれの町において、次の世代の人たちのために何もできなくなるとのことだった。財政を有効に使うのは大賛成。それ以外のものについては節約をしないと、必要なものに使えないということをご承知おきいただきたい。
- ・長島町における借入金の推移、今長島町は164億円の借金である。26億円は返さなくていい借金である。残りの138億円の償還金にも国が70%の交付金をくれる。実際には40億円くらいの町の財源があれば償還が済む。
- ・ただ、10億円は学校、18億円は獅子島架橋の基金であるので手を付けられないと認識いただきたい。

- ☞ 現在の学校基金の範囲内で統合中学校の整備と、今後予想される小学校の危険校舎整備に対応できる。

- ☞ 借金を増やすと、今の子どもたちが返すことになるので、財政は大事に考えながら、学校整備はしてほしいというのが願いである。

- ☞ 地域の理解

最初のアンケートでは、どちらでも良いから統合してほしいという意見が多かった。今の状況を見ても、多少のかたよりはあるが、80%、90%と決定的に決める状況にはな

いと判断している。

- ☞ 最終的には、議会の判断に委ねざるを得ない。
- ☞ こういう観点から、鷹巣中学校の方が関連施設の利用ができる。そしてまた、お金のかからない整備ができる。子どもたちのためからすると、面積的にも鷹巣中学校の方が利用しやすいとの結論に至った。
- ☞ 最終的には、1つの学校にするという教育委員会からの提言もいただいた。様々な事情は乗り越えて総合的に判断をする。
- ☞ 提案権は町長にあるが、決定権は議会にしかない。
- ☞ 前回、長島高校跡で提案したときは、次の対策を考えていなかった。今回は、結論として、再編は町、教育委員会ともに1校である。これを最優先させるべきである。両候補地とも提案して、議会に判断いただく。これが一番良いのではないかという判断となった。
- ☞ 2回目の説明会には、色々な議論もあるだろうが、1校にするために2つの案ともに出すことで了解していただけないか。

まとめ

（議長＝町長）

- ☞ 総合教育会議としては、中学校の統合再編は、町、教育委員会とも1校であり、最優先させるべきだということが大原則。
- ☞ 最終的には町長に委ねるか、町民の意見を聴いて優先順位を決めるか。2回目の説明会の様子を聴いて判断をする。
- ☞ 説明会では、2つの案とも説明し、どちらかの議案を提案して可決されれば、次は出さない。否決されれば、もう1つの案を提案する。
- ☞ 前回は、長島高校跡地を利用しようとして議案を出して、否決されても、次の2校とかの話し合いをしていなかった。だから次は出せなかった。
- ☞ 今回は、候補地を2校に絞るというのは皆さんほぼ了解をいただいている。どちらが良いかということを議論している。最終的にはどちらかを上程して、可決されれば決まり。否決されて可能性があるとするれば、次の案を提案する。
- ☞ 議会もそういう意味からすると、自分たちの判断をしてくれると思う。
- ☞ あまり議会にも負担をかけるといけない、そう思っている。

- ☞ 小中学校等統合再編推進委員会です承いいただいて、地域の説明会を開く。
- ☞ 説明会でも、両方の案のプラス面、マイナス面を説明して、総合的に判断する。説明会を開いたのち、総合教育会議を開いて、今日合意したような形で、議会へ提案するということになる。
- ☞ その雰囲気は議員にも感じてもらった方が良い。
- ☞ スクールバスの問題は、１０人くらいの運転手が必要となる。中学校の統合が決まると、町が責任もって対応したい。

②その他

- ☞ 今後の日程としては、
小中学校等統合再編推進委員会 ⇒座談会（仮称） ⇒総合教育会議 ⇒議会上程
- ☞ 座談会（仮称）名称は、説明会ではなく、住民が出席しやすい意見交換会や座談会等とする。
- ☞ 前回の説明会へのＰＴＡ等の若い人の出席が少なかった。若い人たちの参加を促す周知を図る。
- ☞ 前回の会場は、駐車場が狭いところがあった。会場や駐車場が広い体育館などの会場を検討する。
- ☞ 体育館等暖房がない会場で開催するとなると、少し暖かくなり、より多くの方が出席できる時期の開催とする。ただし、拙速にということではないが、あまり遅くならないようにする。
- ☞ 座談会（仮称）の名称、場所、時間等は事務局同士で協議する。

以上とおり協議・調整が行われ、「①長島町立中学校再編に伴う基本構想（案）についてのまとめ」、「②その他」のとおり了承された。